事業番号　　新24-9

平成２４年行政事業レビューシート　（　警察庁　）

事業名	交通警察に係る補助金事業（全国防災）	担当部局庁	交通局	作成責任者
事業開始・終了(予定）年度	平成24年度～	担当課室	交通規制課	交通規制課長 和田　昭夫
会計区分	東日本大震災復興特別会計	施策名	4　安全かつ快適な交通の確保	
根拠法令 （具体的な条項も記載）	・警察法第37条第3項、警察法施行令第3条第1項 ・交通安全施設等整備事業の推進に関する法律第3条第1項	関係する計画、通知等	－	
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	東日本大震災及びそれに伴う停電により多くの信号機が滅灯し、安全で円滑な交通に支障が生じたことを踏まえ、信号機の滅灯防止対策等防災機能の強化を図る。			
事業概要 （5行程度以内。別添可）	停電時においても主要な道路の安全で円滑な交通を維持するため、停電時において電力供給を可能とする信号機電源付加装置の整備を推進するとともに、全国的に電力供給が不安定となっている中、信号機についても可能な限り消費電力を低減するため、高い節電効果のある信号灯器のＬＥＤ化を推進する。			
実施方法	□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位：百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算	－	－	－	688	1,210
	補正予算	－	－	－	0	
	繰越し等	－	－	－	0	
	計	－	－	－	688	1,210
執行額		－	－	－		
執行率（%）		－	－	－		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（24年度）
（成果目標） 信号機の防災機能の強化 （成果実績） ①信号機電源付加装置の整備数 ②信号灯器（車両用）のLED化数 ③信号灯器（歩行者用）のLED化数	成果実績	①基 ②式 ③式	－	－	－	①166 ②488 ③398
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
①信号機電源付加装置の整備数 ②信号灯器（車両用）のLED化数 ③信号灯器（歩行者用）のLED化数	活動実績 （当初見込み）	①基 ②式 ③式	－	－ （　－　）	－ （　－　）	－ ①166 ②488 ③398

単位当たりコスト	算出根拠
①信号機電源付加装置の整備：約230万円／基 ②信号灯器（車両用）のLED化：約120万円／式 ③信号灯器（歩行者用）のLED化：約90万円／式	平成22年度中に実施した事業の契約額の平均

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
補助金	688	1,210	信号機の防災機能の強化に関する事業量の増加のため増となったもの。
計	688	1,210	

事業所管部局による点検			
	評価	項　　目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	今後の自然災害への備えとして、災害に強い交通安全施設等の整備を推進することは喫緊の課題である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	今後の自然災害への備えとして、信号機電源付加装置の整備及び信号機のLED化事業は、信号機の滅灯防止対策等防災機能の強化を図る実効性の高い事業である。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	―	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件については、未執行である。 事業の成果目標については、適切に設定されている。		

予算監視・効率化チームの所見
事業の執行に当たっては、競争性を確保し、執行額の削減に努めること。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
特になし

補記　（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
特になし

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成２２年行政事業レビュー	-	平成２３年行政事業レビュー	復興11

東日本大震災による被害を受けた交通安全施設等の災害復旧

➢ 今回の震災においては、信号機や道路標識を始めとする交通安全施設についても、地震、津波、液状化現象等により、柱の倒壊、機器の水没、故障等の被害が多数発生

宮城

倒壊した信号機

岩手

傾斜した標識

福島

埋没した制御機

千葉

埋没した横断歩道

早急に必要な復旧事業に要する経費については補正予算第１号及び第３号で計上

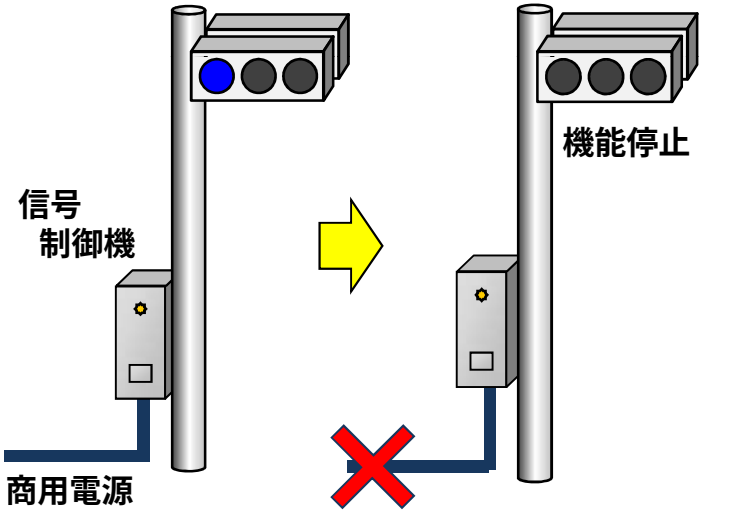
その他必要な事業（新たな被害も判明）の経費についても国庫補助が必要

停電に起因する信号機の機能停止を防止する発動発電機の整備

- 東日本大震災及びこれに伴う停電のため、多くの信号機が滅灯

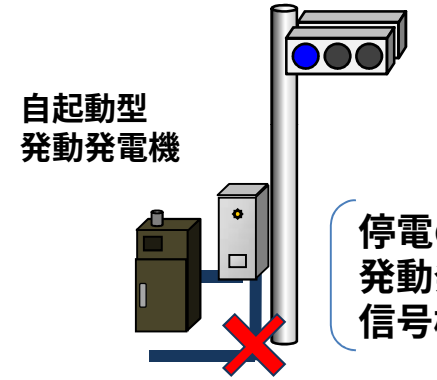
  ⇨ 停電時に信号機の機能を維持するための滅灯対策が必要

【停電による信号機の機能停止】

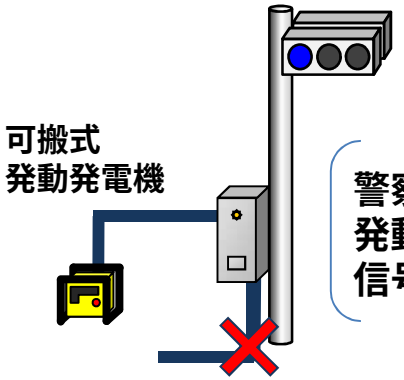


地震に伴う停電
→ 信号機の機能停止
→ 交通の混乱のおそれ

【発動発電機による電力供給】



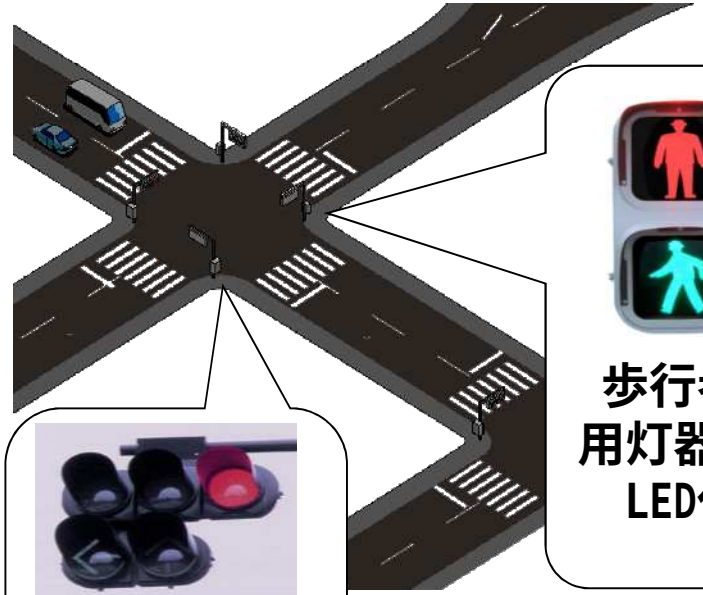
停電の際、自動的に
発動発電機が作動し、
信号機に電力を供給



警察職員が、可搬式
発動発電機を接続し
信号機に電力を供給

信号機の消費電力を減少させるための信号灯器のＬＥＤ化

- 東日本大震災に伴う各地での原子力発電所の停止により、全国的に電力供給が不安定
  - ⇨ 都道府県警察においても、徹底した節電が必要
  - ⇨ 交通安全施設に係る節電対策として、信号灯器のＬＥＤ化を推進



歩行者用灯器のLED化

車両用灯器のLED化

ＬＥＤ式信号灯器の特徴

【高い節電効果】

消費電力が電球式の約５分の１

※　その他にも
- 長寿命
- 視認性の向上

の効果が得られる